

予算決算常任委員会建設経済分科会会長報告

建設経済分科会に送付されました、「議案第57号」令和7年度北本市一般会計歳入歳出決算の認定について、「議案第59号」令和7年度北本都市計画事業久保特定土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について、「議案第63号」令和7年度北本市公共下水道事業会計決算の認定について、「議案第77号」令和8年度北本市一般会計補正予算（第4号）、「議案第79号」令和8年度北本都市計画事業久保特定土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）について審査内容の主なものを御報告いたします。

◎「議案第57号」市民経済部関係について

（１）使用料及び手数料のうち農林水産使用料に関して

「農業ふれあいセンター使用料が引き続き増加しているが、売上額及び利用者数の状況はどうなっているか、また今後の使用料値上げについてどのように考えているか」と質疑したところ、「農業ふれあいセンターのうち、農産物販売施設「桜国屋」の売上額は4億340万3,223円、前年度比5.91%増で、利用者数は20万1,823人、地域食材供給施設「さんた亭」の売上額は2,036万8,350円、前年度比1.95%減で、利用者数は2万1,394人、同じく地域食材供給施設「&greenCAFE」の売上額は1,423万834円、前年度比16.7%増で、利用者数は4万6,452人でした。ネモフィラのシーズンに来場者が増えた影響で全体の売上額が伸び、使用料の増加につながりました。

使用料の値上げについては、売上額が4億円を超えたことに伴い、売上額の2.29%に引き上げる方向で検討を進めていましたが、「さんた亭」の売上額の状況や将来的な指定管理者制度への移行等も見据え、検討をしているところです」との答弁がありました。

（２）使用料及び手数料のうち総務手数料に関して

「住民基本台帳手数料は減少傾向にあるが、このうちコンビニ交付の利用件数の状況について」質疑したところ、「住民基本台帳手数料全体の件数は減少傾向にあるものの、このうち、住民票の写しや印鑑登録証明書に係るコンビニ交付件数については増加傾向にあります。一方で、戸籍の附票の写しや戸籍証明書に係るコンビニ交付件数は減少傾向にあります。結果として、コンビニ交付全体の件数は減少しており、その要因としては、コンビニ交付実績に含めていた市内キオスク端末が令和７年９月末の賃貸借期間満了に伴い運用を終了したことや、パスポートのオンライン申請において戸籍謄本の添付が不要となったこと等が影響しているものと考えています」との答弁がありました。

（３）総務費のうち地域振興費に関して

「協働事業提案制度で実施した協働事業の取組内容とその効果について」質疑したところ、「協働事業提案制度については、自治会連合会から自治会加入促進事業における事業提案をいただき、採択しました。事業の内容としては、自治会加入促進プロモーション動画を作成し、市民課前のロビーでの放映及びYouTube配信を行ったほか、加入促進チラシを作成し、市内全戸へ配布しました。さらに、自治会長が自治会加入促進活動をする際に参考となる自治会加入促進マニュアルを作成するなど、自治会加入の促進を図ることができました」との答弁がありました。

（４）衛生費のうち環境衛生費に関して

「ゼロカーボンシティ実現促進補助金の交付により、温室効果ガスの削減にどの程度の効果があったのか。また、執行率が十分とは言えない状況だが、今後どのように取り組んでいくのか」と質疑したところ、「住宅用省エネルギー機器設置費補助金55件、省エネ家電買換え費補助金245件の実績があり

ました。両補助金をあわせた削減効果として、温室効果ガスを186.9t-CO₂削減できた試算となり、前年度の139.4t-CO₂と比較して削減量は増加している状況です。多くの方に活用していただけるよう、引き続き制度の周知啓発に努めていきます」との答弁がありました。

（５）農林水産業費のうち農業振興費に関して

「農業ふれあいセンターの椅子購入の内訳について」質疑したところ、
「農業ふれあいセンターの椅子については、当初、埼玉県産木材を使用した椅子40脚を、1脚当たり5万8,840円、税込総額258万8,960円で調達する予定でした。しかし、高額であるとの御意見を多くいただいたことから、国産木材を使用した椅子へ仕様を変更するとともに必要数を再精査し、調達コストの抑制を図りました。その結果、実施額は1脚当たり2万7,000円、購入数を30脚とし、合計で税込89万1,000円での執行となりました」との答弁がありました。

（６）商工費のうち商工振興費に関して

「北本カレーフェスティバルを実施したことで、地元のPRにつながったのか」と質疑したところ、「北本トマト100周年を記念してきたもと縄文まつりと同時開催し、約3,500人の方に来場いただきました。出店した全15店舗のうち北本トマトカレーを提供する店舗は6店舗参加していただいております。北本トマトカレーをはじめとする北本の「食」の普及・拡大及び本市の魅力向上につながったと考えています」との答弁がありました。

◎「議案第57号」都市整備部関係について

（１）使用料及び手数料のうち土木使用料に関して

「市営住宅使用料が減少した理由について」質疑したところ、「台原住宅で2戸、15か月分、山中住宅で1戸、3か月分、合計18か月分の空室期間が生じたため、前年度と比較して使用料収入が減少しました。通常は、入居者

が退去した後、約2か月で退去修繕を行い、3か月目に広報等で募集して次の入居者が決定するという流れですが、募集後すぐに申し込みがなかったことや、退去に時間を要したこと等の理由で空室期間が長期化したものです」との答弁がありました。

（２）土木費のうち土木総務費に関して

「違反簡易広告物撤去枚数が大幅に減少しているが、巡回回数を減らすなどの見直しは検討しているのか」と質疑したところ、「違反簡易広告物撤去作業については、月1回の巡回業務をシルバー人材センターに委託しています。現在のところ巡回回数を減らして委託料を抑えることは検討していません」との答弁がありました。

（３）土木費のうち道路新設改良費に関して

「北本駅東口駅前広場シェルター整備工事は、令和7・8年度の継続事業だが、令和7年度分は予定どおり進捗したのか」と質疑したところ、「令和7年度実施分として、全体の約68.8%が完了しており、実施計画どおり順調に進捗しています。なお、工事が完了した部分については、既に供用を開始しています。以前は屋根がなく、雨天時等に迎えを待つ方が駅階段付近で待機する状況があり、危険な状況が見受けられましたが、今回の整備により危険が解消されました」との答弁がありました。

（４）土木費のうち都市計画総務費に関して

「中央通線の都市計画変更図書作成業務委託における変更内容と今後の事業の進め方について」質疑したところ、「早期完成と残地の有効活用を図るため、あずま通りから国道17号線までの約300メートル区間について、幅員を22メートルから17メートルに変更しています。今後のスケジュールとしては、令和8年度末に都市計画変更を行い、令和9年度に事業認可を取得したのち令和10年度から事業化を行い、令和31年度の完成を目指しています」と

の答弁がありました。

（５）土木費のうち公園緑地費に関して

「公園緑地費の委託料に予備費を充用しているが、その使途内容は何か」と質疑したところ、「石戸蒲ザクラにクビアカツヤカミキリによる被害が確認されたことを受け、被害の拡大を防ぐために、予備費98万8,000円を充用し、石戸蒲ザクラ周辺の桜を対象に対応を実施しました。子供公園53本、天神下公園11本、桜堤51本、自然観察公園遊歩道15本の合計130本の桜の木に防除剤散布を行うとともに、フラスが確認された子供公園の桜の木13本に対して薬液注入をするため緊急対応を行いました」との答弁がありました。

◎「議案第59号」について

（１）事業費のうち土地区画整理費に関して

「事業の進捗状況について、また予定している完了時期から大幅に遅延が生じるような状況は発生していないか」と質疑したところ、「事業の進捗率については、令和7年度末における総事業費ベースの事業進捗率が約55.1%となり、令和6年度末の約50.4%から4.7ポイント上昇しています。また、事業執行率は約93.4%で、令和6年度の約83.3%を上回っていますが、翌年度への繰越額を差し引くと、令和6年度の事業の執行率は約93%であり、ほぼ同等となっています。さらに、施行期間が令和27年度までの事業計画において、令和7年度の事業費は約5億2,803万円を計上しているのに対し、実際の令和7年度の決算額は約5億8,147万円となっており、事業計画どおりに進捗している状況です」との答弁がありました。

◎「議案第63号」について

（１）下水道事業収益的収入のうち下水道使用料及び他会計補助金に関して

「一般会計補助金が増額となっているが、下水道使用料との関係も含めた今後の見通しについて」質疑したところ、「経費回収率としては、78.73%

を下水道使用料で賄い、残りの21.27%を一般会計からの補助金で補填している状況です。今後、設備の老朽化に加え、物価や人件費の高騰への対応も必要となることから、下水道事業審議会において使用料改定に向けた検討もしているところです」との答弁がありました。

◎「議案第77号」都市整備部関係について

本案に対する質疑はありませんでした。

◎「議案第79号」について

本案に対する質疑はありませんでした。

以上、報告いたします。